



大町商店街にある、キッズスペース併設の
コワーキングスペース「MARUWWAニコメ」。
そこに集うママや働く人々が自分たちの
目線で見つけた、これから活躍しそうな
ヒト・モノ・コトなど身のまわりの新しい芽。
それが「ニコメ(二個目のメ(目・芽))」です。
MARUWWAニコメ
〒017-0841 大館市宇大町9
TEL:0186-59-5305
https://maruwwa.com/nicome/



こそだてコラム

【お話ししてくれた人】
助産院イスキア 助産師・IBCLC 菅原光子さん
090-6254-7673
産前産後の支援から性教育まで、幅広く活動しています。

2021 第3弾 思春期の子供をもつ家族の皆様へ 反抗期に親はどう向き合う？

ある高校での、いのちの講座後の質問
「僕は親に反抗することがないのですが大丈夫ですか？」。私は「まあ素敵なお話！ あなたのご両親はあなたの声に耳を傾けて聴いてくれているのでしょね」と応えました。
“あなたの子はあなたのこどもではない”というカール・ジブラン(詩人)の言葉を浮かべることがあります。成長する我が子に、将来の安定を願うがゆえに親の価値観を伝えることは避けようと思っても、ついつい…ということがありませんか？
そんな時、子は言葉や行動でキレル！ある意味自分の感情を出しているということ。そこでぶつかり合わず、少し時間をおいてみましょう。時には親から、

「あなたの気持ちを無視して言ってごめん」と謝るのもアリです。子どもを信じることって忍耐です。崖から落ちそうになるタイミングで手を差し伸べる・声を聴く。思春期の親の役割は、すぐ手を差し伸べたくはなけれど我慢、一歩ひいて子どもを見守ることだと思うのです。



イラスト：さわたのりこ

わたし目線でみつけたこの街の新しい芽 Vol.11

今月のメダマ

輝くあの人にインタビュー③

まだ知られていない北秋田の魅力をデザインの力で発信。



企画・取材・編集・撮影・執筆・デザイン……県北を中心にフリーランスでマルチに活躍している竹田牧子さんに、仕事への取り組み方や北秋田の魅力についてうかがいました。

北海道函館市生まれの竹田さんは秋田公立美術工芸短期大学卒業後、県北にある印刷やデザイン・WEB制作などを行う会社に15年間勤務。出産や育児を機に、在宅で仕事をするためフリーランスへ転身しました。「最初の頃は、誰とも会わずに毎日パソコン

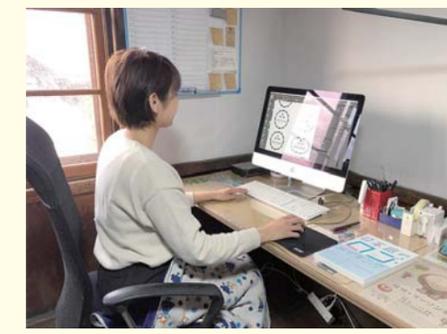


と向き合い仕事をするのが辛くて元気がなくなっていました。2017年から職場を自宅から鷹巣駅前のシェアオフィス“community station KITAKITA”に移してからは、人との出会いが増えていきました。仕事をしていてどうしても煮詰まったりアイデアが思いつかない時は、外を歩いて気分転換をしたり、人と会って話をすることでスッキリして心の整理が付き

ますね」と、竹田さん。日々心がけていることは、「言われたことをそのままやるだけではなく、自分が思ったことも相手に提案してみる」と。地域の人々がデザイナーに何を求めているのかを常に意識し、求められている結果を出せるような仕事をしていきたいと思っているのだそう。

取材時、北秋田の美味しいものや好きな景色について楽しそうに話してくれた竹田さん。「生まれ育った函館市は海の街。冬になると雪はあまり降りませんが、辺り一面銀世界です。函館は風が強いので、初めて秋田に来た時は木に実がなっていることに感動しました。秋田は米やリンゴをはじめ、美味しいものがたくさんありますよね」と話してくれました。

2018年から関わっている阿仁地域の魅力をまとめたフリーペーパー「ムラの物語」シリーズは、竹田さんにとって大きな転機になったそうです。「取材を進めるうちに、農家さんひとつとっても、土地や風土によってそれぞれの物語があることを知りました」。北秋田に魅了された竹田さんはその後、入居しているKITAKITAを運営するコマド意匠設計室と共同でフリーマガジン「KITAKITA magazine」を発行。また、秋田の旬を発信するWEBサイト「a. woman」では、ライターとして毎月取材や執筆を行っています。「今後も食文化・農作物・工芸品など、秋田出身ではない自分だからこそ、光ってみえるものを伝えていきたいです」。



シェアオフィスKITAKITAでの仕事の様子

北鹿ネコつながぎ



松坂ミーちゃん(大館市)もうおばあちゃんだけど、いつまでも元気で我が家のアイドルでいてください。

おすすめ絵本



「おばあちゃんのはこぶね」
作・絵 M.B.ゴフスタイン 訳・谷川俊太郎
出版社・すえもりブックス

大人も楽しめる絵本をご紹介します。年度の変わり目の忙しい毎日の中で、5分間だけ、絵本に癒されてみませんか。

主人公は90歳のおばあちゃん。子どもの頃に父親が作ってくれた舟と人形を、大切に愛しみながら過ごします。そして長い年月が経って、みんないなくなってしまう今、ベッドに横たわりながら舟を見つめます。最後の2ページ、おばあちゃんの心情を表す一文に深く心を打たれます。

モノクロの線画で描かれたシンプルな絵と、谷川俊太郎の流れる詩のような訳が見事に調和して、心に響く一冊です。

【この絵本を紹介してくれた人】 池島未利さん
「おはなしの森」所属。図書館や保育園、小学校などで読み聞かせ活動を行っています。

編集部より

新年度、新しい出会いがある季節です。みなさんの学校や職場などの人間関係も、少なからず変化があるのではないのでしょうか。私は引っ越してから3年ほど、友人がほとんどいませんでしたが、むしろ誰も私の名前を知らないような土地に引っ越してきて、「思いつきりやるぞ」と、いろいろなことに挑戦できました。4月は新しいことを始めるきっかけにもなります。心機一転なにか始めてみませんか！ (編集部N)



いしころキラリ MARUWWA会議室でオンライン結婚式



※イラストはイメージです。

コロナ禍における新たな生活様式の中で、首都圏での結婚式にMARUWWAからオンラインで参加したいとの相談がありました。両親やおばあちゃんや親族の方々なども参加。みなさんで料理を持参し給湯室も活用いただき、42インチテレビモニターの大画面を囲みながらとてもアットホームな雰囲気でした。神前式の雅楽の音色や「おめでとう！」と「ありがとう！」の音がひびき、ほっこり幸せなひとときでした。
MARUWWAではオンラインやりモート用機器レンタルやサポートも承っております。wi-fi6や有線LAN接続での安定した配信にも対応しており、日々サービス充実のためバージョンアップしていきます。使い方がわからない場合でも大丈夫です。お気軽にご相談ください。

使用機器 ▶ 42インチテレビモニター・iPad・スピーカーフォン・WEBカメラ・Zoom

MARUWWA(マルーフ) https://maruwwa.com/